



脳卒中とは

問 稲城市保健センター

☎378-3421

ん、心臓病について第3位となつています。死亡者数こそ減つていますが、発症すると何らかの後遺症が残る場合が多く、寝たきりになる原因のトップとなつており、いまだに国民病であり続けています。

脳卒中を発症すると身体機能や言語機能などが失われたり、死に至ることもあります。具体的には意識がなくなつたり、手足が動かない、手足がしびれる、ろれつが回らない、言葉が出ない、言葉が理解できないなどで、このような症状が後遺症として残ることが多いのです。

怖い脳卒中にならないためには当然予防が大切です。日常生活では、規則正しい生活、バランスのよい食事、

適度な運動、禁煙、アルコールは控えるにすることを心掛けてください。また高血圧、糖尿病、高脂血症、不整脈を指摘されている方はそのままにせず、必ず病院を受診するようにしてください。これらは放置しておくと脳卒中を高率に招いてしまいます。不幸にも脳卒中の症状が出現した時は、すぐに病院を受診してください。

最後に、脱水になりがちな夏が近付いてきています。脱水は血液がドロドロになり、血液が固まりやすくなり、血管が詰まる。そう！脳卒中のひとつである脳梗塞の危険性が高まってしまふのです。こまめな水分補給を忘れずに！！

稲城市医師会 田中 蔵人

皆さんは脳卒中がどんな病気かご存じでしょうか？
脳の血管が詰まったり破れたりすることによって、脳が障害を受ける病気です。
脳の血管が詰まる脳梗塞、脳の血管が破れる脳出血やくも膜下出血などがあります。

脳卒中はかつて日本人の死因の第1位で、日本人の

国民病といわれていた時代がありました。現在はが